

## 平成 30 年度 第 1 回伊勢市環境審議会 記録概要

### 【路上喫煙対策部分の抜粋】

- これまでの経過と取組み、市の取組、今後のスケジュール、環境審議会の役割（審議事項）について説明【事務局】
- 具体的な区域の議論は別の審議会が決めるので、当審議会では、区域の議論ではなく、条例として制定する為のご意見を集約したい
- 8 月 15 日の中日新聞の夕刊で「歩き煙草の受動喫煙に困っており、名古屋は駅前など 4ヶ所で規制しているが、自分の住む地区も規制してほしい。」という記事があった。ルール強制型の 11 自治体に入っている名古屋でも路上喫煙に対して厳しい方もみえる。
- 区域を決められるということだが、一般の人にどうやって周知するか。罰則などは特に求めない、吸っている人がいれば指導や標示で注意喚起する必要があると思うが、どういう体制で行うのか。その点はお考えでしょうか？
- 標示の件は、他市など参考にしてやっていきたい。観光客に対してどうやって周知するか検討していかないといけない。観光部局もいますので協議しながら進めていきたい。パトロールの件は、実際のどれだけ吸われる方がいるかにもよりますが、定期的なパトロールは必要だと思う。松阪市や四日市市もしている。一年間ずっと職員が見回る訳ではありませんが。【市】
- おかげ横丁など、人が集中するので大変じゃないか。区域を設定するのはいいが徹底するのはかなり大変ではないか。そういう体制などをよく事例を見て出来るだけ効果のあるものに。
- なぜ区域を決める必要があるのか。過料をとるなら区域指定も分かるが、モラル指導なら区域は必要ないのではないか。区域を区切った説明、なぜそこで分かれるのかの説明がつきづらいのではないか。ポケット灰皿は認めるのか、喫煙所付近は認めるのかはあるが、もともと路上喫煙はどこでも駄目。だとしたら区域を区切る意味がないのではないか。ただ指導するだけなら、伊勢市全域でもいいのではないか。見回りなどの問題もあると思うが、分けた場所、境界にポイ捨てが増えてしまう可能性がある。そこに住む人が何故この区切りなのかと問われる。

- ・喫煙者は広い所で吸いたくなる。公園や海水浴場は路上なのか。海岸線も必要となってくるのではないか。
- ・喫煙者がタバコ吸う権利もある為、いきなり市内全域は難しい。先進地も参考にしながら決めていきたい。路上の範囲については、公園や公共施設などの敷地についても今回いただいた意見の中で、区域を決める審議会で検討していきたい。健康増進法の改正もあるが、それはそれで市として考えていきたい。まずは、ポイ捨て条例の中で禁止区域を指定できる条例を作っていきたいと思うのでご意見をいただきたい。【市】
- ・喫煙者と吸わない人で意見が別れる。全部禁止すると隠れて吸う人が出てくる。喫煙者の喫煙権も考える必要がある。ステップアップで進めるのも考え方。
- ・煙草をやめると煙草の煙が気になる。昔は、工事現場ではほとんどみんなが吸っていた。現在は、会社も現場も喫煙禁止している為、喫煙者は車の中で吸っている。学校の先生も敷地の外に出て路上で吸っており、子供から何で路上喫煙しているのか聞かれると返事に困る。子供が喘息で隣の家で吸う煙草を気にしている人もいた時代。労働基準監督署でもクロスとか壁についている煙草は駄目ということになってくると、煙草を吸う人の権利はあるのか。今後なくなっていくのではないか。それなら段階的にではなく、伊勢市は禁煙都市にします、くらい大きくいってもいいと思う。
- ・区域については別の審議会で検討する予定。いきなり全域は難しいので、まずは観光客、人の通りが多い場所、集う場所から禁止していき、その区域が増えていくのは考えられる。【市】
- ・これまでの経緯と取組みが記載されているが、喫煙所が設置された場所は周辺の路上喫煙はなくなったという評価でいいのか。成果を知りたい。伊勢市駅前の花壇の管理を週に1回はしているが、この春に喫煙場所を聞かれて「分からない」と答えたら「なんで喫煙場所がないのか」とかなりの勢いで怒られたことがある。花壇や排水口の中に吸殻がよく捨てられている。皆が分かる所に喫煙所を作ることで分離できるのではないか。伊勢市駅に欲しい。
- ・宇治浦田駐車場、内宮は JT の協力の元、喫煙所を設置した。約 10 年前は路地の側溝に多く吸殻があった為、店の前に灰皿を置くようになり、減った。今は、店の前でも嫌がる人がいるので、店の中に移動、宇治橋の手前にも喫煙所が作られた。場所があると、他で吸う人、ポイ捨てが減った。区域を決

めるなら吸うところもセットで決めないといけない。伊勢市駅前の喫煙所は探しているところ。今は外宮入って右に行くところ。【市】

- 喫煙者も様々であるが、喫煙所があれば大体の人はそこで喫煙する。だいぶ減る。
- 神宮のパンフレットに喫煙所の案内はあるのか。喫煙所も案内して欲しい。宇治山田駅でも伊勢市の案内に喫煙所を記載してほしい。
- 神宮のパンフレットに明示できるか相談してみる。
- 伊勢市の観光ボランティアからもよく喫煙所を聞かれる。駅前近くに設置してほしいという話を聞く。【市】
- 吸わない人の立場の意見が多い。吸う人の立場を考えないと禁煙は徹底できない。他の市町がしているからじゃ駄目。観光バスの停留所には、喫煙場所が書かれているが、場所が端にしかない。喫煙所に行くと、トイレ行く暇が無い。吸う側の立場に立って考える必要がある。
- イラストマップには喫煙所の記載あり。【市】
- 自分が吸わないから、目に入らなかつただけかもしれない。喫煙所はいつも端にある。税金を払ってタバコを買っているのに追いやられて、後ろめたい気持ちにさせている。換気扇で回すなら近いところに喫煙所を作ってもいいのではないかな。
- 神宮は、東屋の自然換気タイプなのでメインの道からは少し外れた場所に作っている。安価で数を作ろうとするとどうしてもそういった形になる。煙を吸い取る様な設備は施設の中ではある。煙草を吸う人には不便かもしれないが、神宮の神職の人達は意外に喫煙率が高いので煙草のことはよく理解していると思う。
- 子供が産まれたら換気扇の下や外で吸うなど変わってきている。みんなが考え方を変えないといけない。
- 伊勢という土地、観光地。いろんな人がくる。また来てもらうためのおもてなしが大切。両者が不愉快にならない様に帰ってもらうことが大切。一方的に禁煙という話ではなく、トータルでおもてなしをする立場でいるべき。禁

煙場所を指定、喫煙所を作るべき。

- ・観光都市であり、吸う場所、吸えない場所を指定するのはいいが、観光客が入ってくる段階で分かるような案内が必要。「伊勢市はこういうまちを目指している。喫煙所、禁煙区域があります。」という旨を近鉄電車やバスの中で放送することや、技術的にできるか分からないが、車で来る人にもカーナビ等で市内に入る時に案内できるといい。市民は広報などで周知できるからいいが、外に対する周知を工夫できたらいい。
- ・パンフレットに入れたらどうか、観光客が駅から出た時にサインポールや看板で案内するなど色々な方法で周知したい。禁止区域と共に喫煙所の整備もセットで考えていきたい。【市】
- ・禁煙場所、喫煙場所は明確に誰でも分かる様にしないと色々問題が起きる。それで観光客にも悪い印象を与えてしまうことは避けたい。